

議員力と議会力アップで町民福祉の向上を

分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会を目指して



▲午前中、町議会議員の研修では、江藤教授より的確なアドバイスをいただきました

更なる議会改革を進めるため、大正大学社会共生学部公共政策学科 江藤教授をお招きして、3月24日午前は議員研修で議会の役割や改善点などを伺いました。

午後からは、公民館で議会主催の一緒に学ぶ講演会「あなたの参加で議会が変わる」を開催し、町民と上川管内市町村議会議員80名が参加されました。

議員報酬は

新しい原価方式で

講演の中で江藤教授は「選挙がないのは議会の危機。無投票は議員の高齢化や男性ばかりになる。コミュニティや魅力がなくなるのは民主主義の問題になる。」

議会力アップのためには「議員の報酬は活動量に合わせて新しい原価方式にする。近隣自治体の議会と比較するのは問題。」「政務活動費の導入と議会事務局職員の増員。」との助言がありました。

議案審議は大事

「議案審議を抜本的に変え、質疑の後にはメリット・デメリットを議員間討議し、必要な場合は専門家などの参考人を招致

する。」との助言がありました。議会（だより）モニターや通年議会制など、貴重な講義を基に、議会で研究を重ねるにより良い議会づくりに努めます。

江藤俊昭氏

大正大学社会共生学部公共政策学科教授。第29次、第30次地方制度調査会委員。全国市町村議会議長会「議員報酬等のあり方に関する研究会」委員長などを歴任。現在は議会サポーター・アドバイザー（栗山町、芽室町等）、地方自治研究機構評議委員など歴任。

